

地域医療支援病院業務報告書

ハ-ト発第 2019-047

2019年10月3日

沖縄県知事 殿

住 所：沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

開設者：社会医療法人かりゆし会

氏 名：理事長 安里 哲好

標記について、医療法施行規則第9条の2の規定に基づき、平成30年度の業務に関して報告します。

記

1 名 称

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

2 所在地

〒901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

電話 (098) 895 - 3255

3 病床数

精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
0 床	0 床	0 床	0 床	308 床	308 床

4 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要
集中治療室	(主な設備)【医療機器】 人工呼吸器 (ビ'ナ)・人工呼吸器 (バ'ラ)・人工呼吸器 (エ'ビ'タ)・V60 ベンチレータ ー・ネザルハイフロー・PHILIPS 生体情報モニター・PHILIPS 生体情報セントラル・ハートスタートXL 除細動機器・十二誘導心電計・ハートコム・血液ガス分析器・ネブライザー・輸液ポン プ・ポンプ (テルト TE161S)・シリンジポンプ・乾燥機・ACLS 用パソコン・研修用 A E D・結腸栄養ポンプ・汎用超音波画像診断装置・逐次形空気圧式マッサージ器・ ライフアイランド・セブン 昇降機能体重計付・IXM クリスタル・電動ベッド・錠剤台天袋付 病床数 8 床
化学検査室	(主な設備)【医療機器】 日本電子 BM6050、VITROS5600、ADAMS Glucose GA-1171 ADAMS AIC HA-8180、ADAMS AIC HA-8170、OSMO メーカー 血球計算機 XE5000、血球計算機 XS1000i、血痰 ESR1000、凝固検査機器 CS2000i



細菌検査室	(主な設備)【医療機器】 安全キャビネット、サンヨー HEM130AJクラスIIタイプ、VITEK2、冷蔵庫 MPR-514-PJ インキュベータ IS806、CO ₂ インキュベータ MCO-18AC-PJ、バクテアラート遠心機器、 KUBOTA2800
病理検査室	(主な設備)【医療機器】 ライヤ迅速病理 CM1950、パラフィン包埋センサー、遠心機ボクタ 2420、ヒステアフェアプロ (カウ)、ティッシュテック Vip5Jr (カウ)、マイクロライカ RM2235、臓器写真台カウ、 カメラ (コン)
病理解剖室	(主な設備)【医療機器】 解剖台、吸引器
その他 (輸血免疫関係)	(主な設備)【医療機器】 ARCHITECT2000、ARCHITECT1000、攪拌機 MSERUZUSIO、 卓上遠心機器 ABBOTT、振盪機 LABO SHAKER、AUTOVUE、血球洗浄 機 himacMC400、定用遠心機器 KA-2200、恒温槽、振盪機 HAYASHIKR-IN、 ホーバ イレ ユー遠心機器、MEDICALFREEZER、 BLOODBANKREFRIGERATOR、 検体 (血液実施患者) 冷凍庫 DAIWA SHALMY
研究室	(主な設備) ・パソコン・プロジェクター
講義室	室数 5室 総収容定員 180人 ①2階講義室 3室分割可能 収容人数 130名 (分割室使用の場合 1室あたり 40名収容可能) ②別館小カンファレンスルーム (1室) 収容人数 20名 ③別館小カンファレンスルーム (3室) 収容人数 各室 10名
図書室	室数 1室 『図書』蔵書数 2,665冊程度 『雑誌』和雑誌 64タイトル 洋雑誌 19タイトル
救急用又は患者搬送 用自動車	(主な設備)【医療機器】 ・ストレッチャー ・酸素ボンベ ・吸引器 ・シリンジポンプ ・輸液ポンプ ・モナル ・エアウェイ スコープ ・喉頭鏡 ・体温計 ・非接触式体温計 ・ペンライト ・バックボート一式 ・ ネックカテー ・モーター付除動器、マシエット5 ・クラウト型 12誘導心電図 ・携帯ECG機 ・血糖測定器 ・聴診器 ・血圧計 ・SPO ₂ 測定器 ・マックグラス ・マックグラス用マ ギール鉗子 ・骨髓針本体 ・ETCO ₂ モーター ・駆血帯 ・ポケットCO ₂ モーター ・ポケット CO ₂ モーター用センサー 保有台数 2台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 16㎡

注1 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

注2 前回報告後、施設の構造設備の変更があれば、当該施設に係る建物の平面図を添付し、その施設を朱書き等により明示すること。

5 紹介患者への医療提供及び他院への患者紹介の実績

地域医療支援病院 紹介率	69.5%	算定 期間	H30年4月1日 ~ H31年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	68.0%		
算出 根拠	A：紹介患者の数		8,402人
	B：初診患者の数		12,086人
	C：逆紹介患者の数		8,214人

注1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

注2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

注3 それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

6 共同利用の実績（別紙第1）

7 救急医療の提供の実績

(1) 重症救急患者の受け入れに対応できる医療従事者の確保状況

No	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		・常勤 ・専従	週40時間	麻酔科（副院長）
2	医師		・常勤 ・専従	週40時間	麻酔科部長
3	医師		・常勤 ・専従	週40時間	麻酔科副部長
4	医師		・常勤 ・専従	週40時間	麻酔科
5	医師		・常勤 ・専従	週40時間	麻酔科
6	医師		・常勤 ・専従	週40時間	麻酔科
7	医師		・常勤 ・専従	週40時間	放射線科部長
8	医師		・常勤 ・専従	週40時間	泌尿器科部長
9	医師		・常勤 ・専従	週40時間	脳神経外科部長
10	医師		・常勤 ・専従	週40時間	脳神経外科副部長
11	医師		・常勤 ・専従	週40時間	整形外科（副院長）
12	医師		・常勤 ・専従	週40時間	整形外科部長
13	医師		・常勤 ・専従	週40時間	整形外科部長
14	医師		・常勤 ・専従	週40時間	整形外科
15	医師		・常勤 ・専従	週40時間	整形外科
16	医師		・常勤 ・専従	週40時間	腎臓内科医長
17	医師		・常勤 ・専従	週40時間	消化器内科（副院長）
18	医師		・常勤 ・専従	週40時間	消化器内科部長
19	医師		・常勤 ・専従	週40時間	消化器内科医長

20	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	消化器内科
21	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	消化器内科
22	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	内視鏡センター長
23	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	内視鏡副センター長
24	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	循環器内科部長
25	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	循環器内科副部長
26	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	循環器内科医長
27	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	循環器内科
28	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	産婦人科産科部長
29	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	産婦人科センター長
30	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	産婦人科医長
31	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	産婦人科
32	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	産婦人科
33	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	産婦人科
34	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	呼吸器内科部長
35	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	呼吸器内科
36	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	血液内科部長
37	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	血液内科副部長
38	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	内科
39	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	血液浄化部医長
40	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	形成外科部長
41	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	形成外科
42	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	救急総合診療部部長
43	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	救急総合診療部副部長
44	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	外科（院長）
45	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	外科部長
46	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	外科部長
47	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	外科部長
48	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	外科副部長
49	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	外科副部長
50	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	外科
51	医師	・常勤	・専従	週 40 時間	外科

『平成 31 年 3 月 31 日現在』

(2) 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	8 床
専用病床	8 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(3) 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	634.6 m ²	(主な設備) 心電図モニター・除細動器・12誘導心電計・輸液ポンプ・シリンジポンプ・救急蘇生器具・BVM・ジャクソリス ・喉頭鏡・カテーテル・簡易人工呼吸器・簡易血糖測定器・耳鏡・ハンドネブライザー・コグレーター・無影燈・搬送用・ストレッチャー・医療用ガスアウトレット・PACSシステム・オートリカシステムコンピュータ・超音波エコー・血ガス機・心筋マーカー測定器	可
集中治療室	232.9 m ²	(主な設備)【医療機器】 人工呼吸器(ビーナ)・人工呼吸器(ベラ)・人工呼吸器(エビタ)・V60ベンチレーター・ネザルハイフロー・PHILIPS生体情報モニター・PHILIPS生体情報セントラル・ハートスタートXL除細動機器・十二誘導心電計・ハートシム・血液ガス分析器・ネブライザー・輸液ポンプ・ポンプ(テルモTE161S)・シリンジポンプ・乾燥機・ACLS用パソコン・研修用AED・結腸栄養ポンプ・汎用超音波画像診断装置・逐次形空気圧式マッサージ器・ライフアイランド・セブソ 昇降機能体重計付・IXMクリスタル・電動ベッド・錠剤台天袋付	可
CT室	52.6 m ² (2室 合計面積)	(主な設備) ・X線CT装置	可
MRI室	87.19 m ²	(主な設備) ・MRI装置・超音波装置	可
内視鏡室	62.5 m ²	(主な設備) ・胃内視鏡・大腸内視鏡	可
血管造影室 (操作室含む)	114.81 m ²	(主な設備) ・血管造影装置・PCPS・IVUS・IABP	可

(4) 備考

様式第1号の救急病院に関する更新申出書を平成25年7月24日に沖縄県へ提出し受理されている。

(注)特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

(5) 救急患者の数

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	2,765 人 (うち入院患者 1,273 人)
上記以外の救急患者の数	10,785 人 (うち入院患者 1,397 人)
合計	13,550 人 (うち入院患者 2,670 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

(6) 救急用又患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2 台
---------------	-----

8 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績 (別紙第 2)

9 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 (別紙第 3)

10 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 (別紙第 4)

11 委員会開催の実績 (別紙第 5)

12 患者相談の実績 (別紙第 6)

13 その他の地域医療支援病院に求められる取り組みに関する書類 (任意) (別紙第 7)

(別紙第 1)

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用 (共同利用) の実績

1 共同利用の実績

・共同利用を行った医療機関の延べ数	5,858 件
・開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	5,858 件
・開放型病床利用の利用率	117.4 %

注 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

・主な共同利用は 内視鏡検査 (胃・大腸)・超音波内視鏡・マンモグラフィー検査・腹部CT検査・心臓CT検査・トレッドミル検査・MRI (3 Tesla) 検査・MRI (1.5 Tesla) 検査・核医学検査・X線 CT (320 列)・X線 CT (64 列) 検査・全身用骨密度測定装置・血管造影 (心臓) 検査・体外衝撃波結石破碎装置 (ESWL)・迅速凍結病理切片標本検査・開放病床及び一般室・手術室・診療情報管理室・講堂・図書室

注 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

3 共同利用の体制

- (1) 共同利用に関する規定の有無 有 無
(2) 利用医師等登録制度の担当者 氏名：

職 種：事務（地域医療連携室）

注 共同利用に関する規定が有る場合には、当該既定の写しを添付すること。

別紙①参照

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
* 別紙②参照				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ診記入すること。

常時共同利用可能な病床数	22 床
--------------	------

(別紙第2)

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

別紙③-1 参照

- ・研修会 ・講演会 ・勉強会

別紙③-2 参照

- ・救急救命士（気管挿管、薬剤投与）病院実習・就業前病院実習
・ビデオ喉頭鏡病院実習・気管挿管認定救急救命士の再教育に係る見学指導実習

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	14 回
(2) (1) の合計研修者数	589 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- (1) 研修プログラムの有無 有 無
(2) 研修委員会設置の有無 有 無

(3) 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
* 別紙④参照					

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
リハビリテーション科	574.91 m ²	低周波・ドマ・訓練マット・バーベル・角度計・エルゴメーター・各種歩行補助具・空圧式 ROM 改善装置・Pinch Meter・ハラフィン浴・過流浴装置・日常生活動作用設備 握力計・治療台平行棒・傾斜台・車椅子・各種歩行補助具・各種装具・スパイロメーター・心電図モニター・AED・救急カート・体脂肪体重計（インボディ）・内臓脂肪測定器
集中治療室	232.9 m ²	人工呼吸器（ビータ）・人工呼吸器（ベラ）・人工呼吸器（エビタ）・V60ベンチレーター・ネザルハイフロー・PHILIPS 生体情報モニター・PHILIPS 生体情報セントラル・ハートスタートXL除細動機器・十二誘導心電計・ハートシム・血液ガス分析器・ネブライザー・輸液ポンプ・ポンプ（テルテ TE161S）・シリンジポンプ・乾燥機・ACLS 用パソコン・研修用 A E D ・結腸栄養ポンプ・汎用超音波画像診断装置・逐次形空気圧式マッサージ器・ライフアイランド・セブン 昇降機能体重計付・IXMクリスタル・電動ベッド・錠剤台天袋付
救急外来	634.6 m ²	心電図モニター・除細動器・12 誘導心電計・輸液ポンプ・シリンジポンプ・救急蘇生器具・BVM・ジャクソリース ・喉頭鏡・カテーター・簡易人工呼吸器・簡易血糖測定器・耳鏡・ハンドネブライザー・コアグレーター・無影燈・搬送用・ストレッチャー・医療用ガスアウトレット・PACS システム・オーダリングシステムコンピュータ・超音波エコー・血ガス機・心筋マーカー測定器
診療情報管理室	35 m ²	病歴システムコンピュータ・プリンター・マルチハンドル式移動棚・院内がん登録システムコンピュータ・データベースソフト・DPC 登録専用ノート型パソコン
臨床検査室	99.3 m ²	自動分析器・血液分析器・自動血沈測定器・凝固測定器・遠心分離器・冷却遠心器・顕微鏡・自動血球洗浄器・血液保管冷凍庫・FFP 保管・冷凍庫・水平多目的攪拌機・恒温槽

講義室	146.7 m ²	講義室 (5 室) ①2階講義室 3室分割可能 収容人数130 ・分割室使用の場合1室あたり約40名収容可能 ②別館小カンファレンスルーム (1室) 床面積25m ² 収容人数20名 ③別館小カンファレンスルーム (3 室) 床面積 14 m ² 収容人数各室10 名
研究室	19.82 m ²	パソコン・プロジェクター
図書室	29.0 m ²	【図書】 書籍所蔵冊数 (2,665 冊) 【雑誌】 和雑誌 (64タイトル)・洋雑誌 (19タイトル) ・インターネットブース3台+パソコン3台・キャリテイス (照明付)・コピー機・テレビ・DVDレコーダー・医学中央雑誌Web版契約・UpToDateWeb版契約
CT室	52.6 m ² (2室合計面積)	X線 CT 装置
MRI室	87.19 m ² (2室合計面積)	MRI 装置
手術室	487.57 m ² (8室合計面積)	手術室①39.34 m ² 手術室②105.02 m ² 手術室③50.86 m ² 手術室④42.86 m ² 手術室⑤56.19 m ² 手術室⑥50.7 m ² 手術室⑦81.5 m ² 手術室⑧61.1 m ² 麻酔器・生体モニター・電気メス・超音波凝固切開装置・キョーサー・カメラシステム・マイクロファイバースコープ (3 種)・フットポンプ・加温器・記録装置・12誘導・カウンターショック・ドリルシステム・神経刺激装置 (除細動器)・輸液ポンプ・シリンジポンプ・ICU機

(別紙第3)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	病院長
管理担当者氏名	事務部長 診療情報管理室 課長

診療に関する諸記録		保管場所	分類方法
病院日誌		総務課	—
各科診療日誌		看護部	—
処方せん		薬局	—
エックス線写真		放射線科	デジタル保存
手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過 の要約		診療情報管理室	ターミナルデジット方式による管理
病院の管 理及び運 営に関す る諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	—
	救急医療の提供の実績	I C U	—
	地域の医療従事者の資質の向 上を図るための研修の実績	地域医療連携室	—
	閲覧実績	診療情報管理室	—
	紹介患者に対する医療提供及 び他の病院又は診療所に対す る患者紹介の実績の数を明ら かにする帳簿	地域医療連携室	—

注 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(別紙第 4)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の書類

閲覧責任者氏名	病院長
閲覧担当者氏名	診療情報管理室 課長
閲覧の求めに応じる場所	診療情報管理室
閲覧の手続きの概要 (入院診療録の閲覧資格者) 第 1 条 入院診療録の利用は、原則として診療情報管理室での閲覧とする。 入院診療録の閲覧資格者は次の通りとする。 1. 当院医師並びに看護師及び保険請求、書類作成に係る請求業務課職員 2. 診療情報管理室長の承認を得た 1 項目を除く病院職員 3. 院長あるいは診療情報管理室長の承認を得た非常勤医師及び病診連携医師など 4. 立入監査時の医療監視員及び法的に定められた裁判所の提出命令による場合 5. 院長が医学及び看護研究のために特別に承認した者(看護学生など)	

前年度の総閲覧件数		45 件
閲覧者別	医師	45 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

(別紙第 5)

委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1 回
委員会における議論の概要	
1. 平成 29 年度 地域医療支援病院業務報告 ○ 共同利用に関すること 【登録医施設、開放病床、高額医療機器報告】 ○ 医療の提供に関すること 【紹介率、逆紹介率、地域別紹介報告】 ○ 救急医療に関すること 【各消防別救急搬送、時間外救急受入報告】 ○ 研修及び勉強会に関すること 【消防職員を含め地域の医療従事者に対する研修の実施報告】	
2. 意見交換 ○ 特定健診について ○ 出前健康講話について ○ 救急救命士の病院実習受け入れについて ○ 救急症例検討勉強会について ○ ドクターカー、AED職員研修について	

注 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(別紙第6)

患者相談の実績

患者相談を行う場所 朱書き	相談窓口・相談室・その他 ()
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	(社会福祉士) (社会福祉士) (社会福祉士) (社会福祉士) (社会福祉士) (社会福祉士)
患者相談件数	3,239 件
患者相談の概要	
(入院/外来別)	
・ 入院	2,834 件
・ 外来	405 件

合 計	3,239 件
(相談内容分類 (複数回答))	
・ 心理・社会的援助	3,205件
・ 退院支援	13,078件
・ 受診・受療援助	1,578件
・ 経済的問題	404件
・ 社会復帰支援	46件

合 計	18,311 件

注 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し、記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば、併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

(別紙第7)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
【評価を行った機関名】 公益財団法人 日本医療機能評価機構	
【評価を受けた時期】 平成31年3月11日 ~ 12日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
【情報発信の方法】 ・ホームページ ・広報誌の配布 ・診療所へ直接訪問 ・地域医療支援病院連携懇談会の開催 ・地域医療支援病院運営委員会の開催 ・勉強会、講演会、研修会の開催等	
【内容等の概要】 ・病院の理念、方針、実績 ・最新医療技術、最新医療機器の紹介 ・医師の紹介 ・地域医療支援病院の役割の説明 ・医療用語の説明等 ・外来体制表 ・その他	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
【退院調整部門の概要】 ・地域医療連携室内に、退院調整部門があり、看護師1名、医療ソーシャルワーカー6名が各病棟担当制で業務を担っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
【策定した地域連携クリティカルパス】 「種類」：大腿骨近位部骨折連携パス、脳卒中地域連携パス 「内容」：医療機関の間において患者情報を有効に共有・活用するためのツールとしている。	
【地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み】 脳卒中地域連携パスについては、おきなわ津梁ネットワーク（沖縄県医師会作成）のパンフレット及びホームページにて広報を行っている。	

ハートライフ病院登録医療機関一覧表

平成31年3月31日 現在

(医療機関地域別順)

	医療機関名	開設者氏名	住 所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
1	おくまクリニック	奥間 裕次	金武町字金武4790-1	内・小	無
2	松原クリニック	嘉陽 宗亨	金武町字金武4231	内科	無
3	なかそね内科	仲宗根 哲與	読谷村伊良皆340	内科	無
4	まつしまクリニック	松嶋 顕介	読谷村字瀬名波894-2	内・小・外・眼	無
5	ライフケアクリニック長浜	鳥谷 裕	読谷村字長浜1530-1	内・外・小・神	無
6	玉城ファミリークリニック	玉城 修	読谷村都屋245	内・小・皮	無
7	古堅南クリニック	山田 博彦	読谷村古堅923-2	泌・内・外	無
8	野村ハートクリニック	野村 秀樹	嘉手納町字屋良1063-1	内科	無
9	赤道医院	東 一成	うるま市赤道9-10	整形外科	無
10	東山整形外科	山口 隆	うるま市石川東山2-30-14	整形外科	無
11	石川医院	石川 隆夫	うるま市石川2-21-5	内・小	無
12	伊波クリニック	荒木 康雄	うるま市石川伊波431	内・皮	無
13	伊禮医院	伊禮 史朗	うるま市与那城24	内科	無
14	大嶺医院	大嶺 雅亮	うるま市田場1417	内・小・外・整・皮	無
15	川根内科外科	川根 浩三	うるま市みどり町4-2-29	内・小	無
16	しげま小児科医院	志慶眞 文雄	うるま市みどり町3-18-12	小・内・皮	無
17	しま小児科・内科クリニック	島袋 淳吉	うるま市安慶名276	小・内	無
18	すながわ内科クリニック	砂川 博司	うるま市江洲605	内科	無
19	平良川整形外科	友利 昭夫	うるま市喜屋武169-5	整形外科	無
20	中山内科医院	中山 仁	うるま市赤道260-7	内・小・皮	無
21	みどり町クリニック	兼城 英三	うるま市みどり町5-27-2	内・小・皮	無
22	愛聖クリニック	中田 安彦	沖縄市高原5-15-11	内・小	無
23	あきら整形外科	島袋 晃	沖縄市古謝975	整形・リハ	無
24	あさとこどもクリニック	安里 義秀	沖縄市古謝975	小児科	無
25	アワセ第一医院	富里 政秀	沖縄市泡瀬2-54-26	内・小	無
26	いくみ皮膚科クリニック	仲村 郁心	沖縄市比屋根6-27-17(2F)	皮膚科	無
27	伊佐整形外科医院	伊佐 眞	沖縄市比屋根2-3-3	整形外科	無
28	いまい整形外科医院	今井 克己	沖縄市知花6-23-22	整形外科	無
29	伊元小児科	伊元 幸信	沖縄市泡瀬4-39-12	小・内・皮	無
30	うえはら眼科	上原 勝	沖縄市高原2-4-17	眼科	無
31	うちま内科	内間 久吉	沖縄市宮里479-1	内科	無
32	大城内科医院	大城 新蔵	沖縄市照屋5-19-6	内・小	無

33	嘉数医院	嘉数 朝一	沖縄市諸見里1-26-2	内・小	無
34	岸本内科クリニック	岸本 広次	沖縄市登川1-1-24	内・小・皮	無
35	コザ整形外科医院	本部 紹一	沖縄市美里1-26-33	整形外科	無
36	中部眼科	松村 哲	沖縄市美里1772	眼科	無
37	東部クリニック	比嘉 靖	沖縄市与儀3-9-1	脳外・内	無
38	とけし内科	渡慶次 千	沖縄市美里1336-1-1	内科	無
39	ともよせ歯科	友寄 隆彦	沖縄市松本1-4-9	歯科	無
40	仲宗根クリニック	仲宗根 哲康	沖縄市高原仲野原7-23-14	外・内	無
41	なかむら内科おなかクリニック	仲村 光輝	沖縄市比屋根6-27-17(1F)	内科	無
42	永山脳神経クリニック	永山 一郎	沖縄市美里1874	脳外・内・神内・整	無
43	登川クリニック	名城 一臣	沖縄市登川2-24-2	内(糖・循・腎)	無
44	はた内科クリニック	畑 芳夫	沖縄市美里3-22-8	内科	無
45	ひが内科クリニック	比嘉 清憲	沖縄市美里1437	内・小	無
46	ふくはら胃腸科・外科	普久原 勉	沖縄市美里1519	内・外・整・小	無
47	ふくはら小児科医院	普久原 朝政	沖縄市泡瀬2-8-7	小・内・皮	無
48	富名腰医院	富名腰 進	沖縄市住吉1-5-16	内・皮・小・外	無
49	プラザクリニック	真栄城 兼信	沖縄市久保田1-10-5	内・外・整	無
50	まつもと胃腸科整形外科医院	仲地 善昭	沖縄市松本1-21-23	内・外・整・皮	無
51	美里女性クリニック	金武 弘美	沖縄市美原2-25-3	産・婦人	無
52	美原クリニック	田港 朝丈	沖縄市松本921	内・小・皮・泌	無
53	明陽クリニック	安谷屋 浩	沖縄市園田1-4-5	内科	無
54	桃山クリニック	知念 徹	沖縄市南桃原3-1-1	内・小	無
55	諸見里胃腸科内科医院	諸見里 安弘	沖縄市美里1-28-59	内科	無
56	山里整形外科	宜野座 治男	沖縄市山里1-4-15	整形外科	無
57	たまきクリニック	玉城 正弘	北谷町上勢頭837-8	内科	無
58	とうま整形外科クリニック	當眞 嗣一	北谷町字桑江123-2	整形外科・リハ	無
59	ごきげんリハビリクリニック	上里 忠信	北中城村字島袋1253-4	リハ・眼・内	無
60	仲榊内科	仲榊 純一	北中城村島袋534-12	内・小	無
61	ファミリークリニックきたなかぐすく	涌波 満	北中城村字喜舎場360-1	内・小・整・心内 婦・皮	無
62	愛知クリニック	多和田 ひろみ	宜野湾市愛知1-2-12	内・小	無
63	新垣形成外科	新垣 実	宜野湾市宇地泊729	形成外科	無
64	いきいき耳鼻咽喉科クリニック	喜友名 朝盛	宜野湾市長田1-1-3	耳鼻咽喉科	無
65	池原外科胃腸科	池原 弘	宜野湾市新城2-40-27	外科	無
66	いとむクリニック小児科内科	呉屋 五十六	宜野湾市伊佐1-10-9	小・内・耳・眼・皮	無
67	うえはらこどもクリニック	上原 哲	宜野湾市長田1-26-19	小児科	無
68	岡こどもクリニック	岡 勇次郎	宜野湾市宇地泊722-1	小児科	無
69	おやかかわクリニック	親川 富憲	宜野湾市長田1-29-1	内科	無
70	神元内科医院	神元 繁道	宜野湾市真栄原3-5-3	内・小	無

平成30年度 地域医療従事者に対する研修状況

別紙③-1

No	開催年月日	研修内容	開催場所	症例件数	院外参加者	院内参加者	参加者合計
1	平成30年5月24日(木) 19:00 ~ 21:00	消化器症例検討会	講堂	3	5	15	20
2	平成30年6月27日(水) 18:00 ~ 20:00	救急症例検討会	講堂	3	61	42	103
3	平成30年7月12日(木) 18:00 ~ 19:00	医療連携講演会	当院	2	4	17	21
4	平成30年7月26日(木) 19:00 ~ 21:00	消化器症例検討会	講堂	4	3	26	29
5	平成30年8月21日(火) 19:15 ~ 21:00	中部地区医師会(消化器)	講堂	2	6	6	12
6	平成30年9月27日(木) 19:00 ~ 21:00	消化器症例検討会	講堂	4	4	31	35
7	平成30年11月7日(水) 18:00 ~ 20:00	救急症例検討会	講堂	4	71	43	114
8	平成30年11月29日(木) 19:00 ~ 20:00	消化器症例検討会	講堂	3	3	17	20
9	平成31年1月31日(木) 19:00 ~ 20:00	消化器症例検討会	講堂	2	1	22	23
10	平成31年2月20日(水) 18:30 ~ 20:00	血液内科症例検討会	講堂		3	27	30
11	平成31年2月22日(金) 19:00 ~ 20:15	糖尿病症例検討会	講堂		9	20	29
12	平成31年2月27日(水) 19:00 ~ 20:16	救急症例検討会	講堂	3	66	36	102
13	平成31年3月27日(水) 18:00 ~ 19:00	医療連携講演会	講堂		3	22	25
14	平成31年3月29日(金) 18:00 ~ 19:00	医療連携講演会	講堂		2	24	26
		合計		30	241	348	589

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
			外科		
	医師	外科	院長	39年	■教育責任者
	医師	外科	外科系統括部長・外来診療部長・地域医療連携部長	30年	
	医師	外科	外科部長	28年	
	医師	外科	消化器外科部長・外科副部長・4階病棟医長	30年	
	医師	外科	大腸・肛門外科副部長	22年	
	医師	外科	乳腺外科副部長	21年	
	医師	外科		10年	
			呼吸器内科		
	医師	内科	呼吸器内科部長・医局長・7階病棟医長	27年	
	医師	内科		9年	
			消化器内科		
	医師	内科	副院長 内科部長	37年	
	医師	内科	内視鏡センター長	28年	
	医師	内科	消化器内科部長 5階病棟医長	27年	
	医師	内科	内視鏡センター副センター長	25年	
	医師	内科	消化器内科医長	16年	
	医師	内科		18年	
	医師	内科	予防医学センター副センター長	31年	
			循環器内科		
	医師	内科	理事長	41年	
	医師	内科	循環器内科部長	35年	
	医師	内科	救急総合診療部副部長 循環器内科医長	19年	
	医師	内科	循環器内科副部長	22年	
	医師	内科	循環器内科医長	14年	
	医師	内科		9年	
			血液内科		
	医師	内科	血液内科部長 6階病棟医長	21年	
	医師	内科	血液内科副部長	17年	
	医師	内科	血液内科医長	21年	
	医師	内科		19年	
			腎臓内科		
	医師	内科	腎臓内科医長	21年	
			内科		
	医師	内科	外来医長	27年	
	医師	内科		7年	

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
			心療内科		
	医師	心療内科	心療内科医長	22年	
			整形外科		
	医師	整形外科	副院長	37年	
	医師	整形外科	整形外科部長	26年	
	医師	整形外科	膝関節外科部長	17年	
	医師	整形外科		12年	
			形成外科		
	医師	形成外科	形成外科部長	18年	
			産婦人科		
	医師	産婦人科	産婦人科センター長 婦人科部長	32年	
	医師	産婦人科	産科部長	31年	
	医師	産婦人科		9年	
			小児科		
	医師	小児科	小児科部長	20年	
	医師	小児科	小児科医長	11年	
	医師	小児科		20年	
			脳神経外科		
	医師	脳神経外科	脳神経外科部長	26年	
	医師	脳神経外科	脳神経外科副部長 3階病棟医長	20年	
			泌尿器科		
	医師	泌尿器科	泌尿器科部長 血液浄化部長	26年	
			眼科		
	医師	眼科	眼科部長・外来医長	13年	
			耳鼻咽喉科		
	医師	耳鼻咽喉科		18年	
			救急科		
	医師	救急科	救急総合診療部長	37年	
			麻酔科		
	医師	麻酔科	副院長	39年	
	医師	麻酔科	麻酔科部長	30年	
	医師	麻酔科	麻酔科副部長・麻酔科医長	12年	
			放射線科		
	医師	放射線科	放射線科部長	23年	
			人工透析科		
	医師	人工透析科	血液浄化部医長	17年	